

4年産に向けて、米の需給環境は依然厳しい状況です。
麦・大豆や野菜、子実用とうもろこし等の
定着性の高い作物への転換をご検討願います。

◎令和4年産第1回中間的取組状況 (令和4年1月末時点)

都道府県	主食用米		戦略作物													
	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免群粗飼料用稲)		麦		大豆	
			3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)
全国計	130.3万		47,641		6,748		7,632		115,744		44,248		101,760		85,484	
青森	34,200	→	853	↗	283	↘	16	↗	7,701	→	660	→	578	↘	4,414	↗
岩手	46,200	↘↘	1,196	→	343	↗	71	↗	4,683	↗	1,939	↗	3,310	↗	3,764	↗
宮城	61,000	↘↘↘	581	↘	748	↗	150	↗	8,076	↗	2,244	↗	1,892	↗	9,175	↗
秋田	71,400	↘↘↘	8,855	↗	296	↗	425	↗	3,903	↗	1,106	↗	170	→	8,139	↗
山形	54,900	↘↘	3,876	↗	285	↗	112	↗	4,628	↗	966	↗	73	↗	4,413	↗
福島	54,700	→	397	↗	38	↗	7	↗	10,038	↗	1,031	↗	273	↗	711	↘

(注1) 主食用米の「4年産意向(対前年実績)」は、3年産実績と比較し、「→:前年並み」、「↗:1~3%程度減少傾向」、「↘:3~5%程度減少傾向」、「↘↘:5%超の減少傾向」で分類。
 (注2) 戦略作物及び備蓄米の「4年産意向(対前年実績)」は、3年産実績と比較し、「↗:増加傾向」、「→:前年並み」、「↘:減少傾向」で分類。
 (注3) 主食用米の「3年産実績」は、3年12月統計部公表の主食用作付面積。
 (注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「3年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「3年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。
 (注5) 備蓄米の「3年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

東北6県の主食用米の作付意向は

前年並み: 2(25)県
 前年より1~3%程度減少傾向: 0(15)県
 前年より3~5%程度減少傾向: 2(3)県
 前年より5%超の減少傾向: 2(4)県
 となりました。 ※ ()は全国

麦・大豆を増やす意向の県が増える一方で、飼料用米を増やす意向の県も3年産と同様に多くなっています。
 引き続き、麦・大豆や野菜、子実用とうもろこし等の定着性の高い作物への作付への転換をご検討願います。

◎民間在庫量と相対取引価格の推移 (令和4年1月末)

民間在庫量は全国的に米の需給環境が良かった2年前に比べ増加傾向で推移しており、相対取引価格も依然として下落傾向で推移しています。(円/60kg)

	R2年 1月末	→	R4年 1月末
全国	295	+31	326
東北	107	+9	116
青森	15	+0	15
岩手	14	+2	16
宮城	15	+5	20
秋田	25	+3	28
山形	17	+3	20
福島	21	▲3	17

産地品種銘柄		2年産 (年産平均 価格)	→ (前年比)	3年産 (R4.1月末)
全銘柄平均価格		14,529	▲1,572	12,957
青森	まっしぐら	12,677	▲1,608	11,069
岩手	ひとめぼれ	14,381	▲1,795	12,586
宮城	ひとめぼれ	14,094	▲1,620	12,474
秋田	あきたこまち	14,453	▲1,397	13,056
山形	はえぬき	13,968	▲1,785	12,183
福島	コシヒカリ (中通り)	13,245	▲2,202	11,043



東北農政局生産振興課では、大豆生産の拡大を推進するため、「東北地域の大豆優良事例集」を作成しました。ぜひ、ご覧下さい!

この資料に関するご意見、ご要望等がございましたら、ご遠慮なく右記連絡先あてご連絡ください。

ご連絡先: 東北農政局 青森県拠点
 担当: 笹木、木村、外崎
 TEL 017-777-3512
 メール seitoshi_sasaki980@maff.go.jp